

令和8年度 おでやれくらぶ講座スタート



第403号

令和8年6月15日

シリーズ1

元気なまちづくり市政出前講座

4月20日(月)

この4月から変更となった「プラスチック製品の新たな分別方法」について市環境部生活環境課から説明があった。

一番の大きなポイントは、ペットボトルを除く100%プラスチック素材ごみの出し方が従前は、①プラスチック製容器包装は資源ごみ、②軟質プラは可燃ごみ、③硬質プラは不燃ごみとして3分別されていたが、新たに、①資源プラスチックと②可燃ごみの2分別に変更され、その基準は長さが30センチ未満かつ厚さが5ミリ未満かどうかで判断するとされた。

会場には、市担当課で用意したプラスチックごみのサンプル以外にも参加者も多数のプラごみを持参し、実際に一つずつ確認しながら分別への理解を深めた。

ごみの再資源化を一層進めるための新たな実践がスタートした。

現在		新しい分別の区分	
100%プラスチック素材 変更あり	プラスチック製容器包装 可燃ごみ 軟質プラ 現在プラスチックの硬さで判断し分別 不燃ごみ 硬質プラ	資源プラスチック 長さが30cm未満かつ厚さが5mm未満のプラスチック製品 資源プラ 不燃ごみへの投入を防止し 収集・運搬や 処理施設の 火災・爆発リスクを低減	充電式電池類の収集開始 資源プラ 不燃ごみへの投入を防止し 収集・運搬や 処理施設の 火災・爆発リスクを低減
変更なし	不燃ごみ 金属等の他素材とプラスチックの複合品 ペットボトル 変更なし「ペットボトルの日」に収集	変更なし 不燃ごみとして収集	

シリーズ2

寺嶋利光さん講演会

4月22日(水)

「共に過ごした日々 私の死生観を変えた義母の教え 107歳義母をしのぶ」と題しての寺嶋利光さんの講演に20名を超える受講者が参加した。

本年1月18日 信濃毎日新聞へ寄稿された記事内容についてより詳しくお話をいただき、大正から令和にかけての激動の時代を苦難にあっても慈悲深くそして高潔に、命ある限り懸命に生き抜いた義母の律子様の在りし日のお姿が紹介された。講師を務めた寺嶋さんご自身も若くして思い悩んだ時代や、罹患して苦しんだ時代などを経て、そのうえで人生のお手本としての律子様に身近で接したことを通して、健康寿命100歳を目指して歩みを進める心構えを熱く語られた。

そして最後に、毎朝実践している裾花民謡を取り入れたオリジナルのフレイル予防体操を受講者全員で実施し講座が締めくくられた。

シリーズ3

地域防災講座

5月15日(金)

県内でも特殊詐欺被害が後を絶たない中、鬼無里駐在所長の滝澤集治さんから「高齢者の生活安全」と題して講演があった。

特殊詐欺被害に遭わないためには『現在どのような詐欺被害が発生しているかを知ること』『電話で警察・役所・金融機関等の関係者を名乗りATMに誘導し現金を振り込ませることや、キャッシュカードを回収する必要があるとして自宅に来訪するような話は間違いなく詐欺』『自分は大丈夫と過信しない』『冷静に対応すること』『普段から家族・職場・地域全体で声を掛け合うことが大切』との説明があった。

そして、特殊詐欺の多くが海外経由の電話であることから国際電話詐欺を未然にシャットアウトする警察庁・県警推奨アプリ(ダウンロード、利用料ともに無料)等についての説明があり、対応できる受講者から順次講演会場で必要な手続きに着手した。

時節

◆青い地球

世界初の有人宇宙飛行に成功した旧ソ連のガガーリン飛行士が「地球は青かった」という名言を残したのは今から65年前の1961年のことだった。その8年後の1969年にはアポロ11号が人類初の月面着陸に成功した。

そして本年4月10日米主導のアルテミス計画で、アポロ計画から半世紀ぶりに宇宙船「オリオン」による月周回飛行が無事成功した。

一方、地上では、戦争により多くの人命が奪われ、今なお大規模な環境破壊が続いている。人々の平和への願いとともに「青く美しい地球」が未来永劫に輝き続くことを願う。

◆君たちへ

令和8年度を以て閉校となる伝統ある鬼無里中学校では新3年生5名が最後の在校生として有終の美を飾ることとなった。

「希望する進路の実現に向けて中学校生活を精一杯過ごしてください。君たちの奮闘を地域を挙げて応援します!!」(は)

新任ごあいさつ

中央消防署鬼無里分署長

宮岡 敏明



この4月の人事異動により、鬼無里分署長に着任いたしました。消防人生30年を経過し、初めての勤務地となりますが、よろしくお願いいたします。

地域の皆さまに火災予防のお願いです。毎年、たき火の不始末や拡大による火災が多く発生しています。

また、今年の1月から「山林火災注意報・警報」が運用となりました。火の取扱いには十分注意していただき、自然豊かで歴史のある鬼無里を火災から守るよう、ご協力をお願いいたします。

鬼無里地区の皆様が安心・安全に過ごせますよう職員とともに取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

鬼無里保育園長

高橋 正直



この4月から鬼無里保育園の園長として着任いたしました。

私にとって未経験の職場のため不安が期待を上回っていました。3名の明るい笑顔の園児たちや職員の方々に助けていただきながらスタートすることができたところです。

今年度は「思いきり遊ぶ子ども」「自分の思いを伝えられる子ども」「思いやりのある子ども」「あいさつができる子ども」を鬼無里保育園の目標として、一人一人の個性を尊重し、好奇心と探求心に答えながら、たくさん経験ができるよう、ご家族様と園職員が連携し保育を進めてまいります。

学校や施設、地域の皆様方との交流も、子どもたちの豊かな心を育てる大切な機会と思っていますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

鬼無里公民館専門員

北村 達哉



この4月から鬼無里公民館に勤務しております。

鬼無里の風土や文化に根差した公民館活動について、上里・両京・中央の分館を合わせた住民のみなさまのお力添えや、鬼無里地区住民自治協議会、鬼無里支所、鬼無里保健センターなどの関係者のみなさまの協力をいただきながら取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和8年度 鬼無里小中合同 入学式



新入生を迎えて

1・2学年担任

近藤 大造

佐藤 なつ美

今年度は、元気な男の子が3名入学しました。入学式の時に少しだけ緊張しているように見えた1年生ですが、次の日から本領を発揮して動き回っています。5月の今は運動会の練習をがんばっています。

これからも、ひとり一人が輝きのびのびと学校生活を送れるよう共に笑顔で歩んでいきたいと思っています。

子供たちを見守る

4月6日(月)、鬼無里

小中学校合同入学式が暖かな春の日差しのもと厳かに執り行われた。

ふとランチルームの外に目をやると、樹高5mほどの樹に濃い幾多の桃色の花が可憐に咲いていた。

付近に記念植樹等の標柱がなく、梅が早咲きの桜か判明できなかったことから画像をスマホで検索すると、花びらの形からA1による判定は「花桃」とのこと。

小学校に3名の新入生を迎え、そして中学校では最後の在校生として5名の3年生が新たな1年をこの学び舎で過ごす。

美しい花が咲き終わってもこの樹は変わらずにそっと優しく児童生徒に寄り添い続ける。



はなもも

のびのび子育て学級 開講



保健センター、体育指導員、住民自治協議会、保育園等、多くの皆様のご支援ご協力をいただき未就園児の親子を対象に今年度は年間41回の特色ある講座が開催される。開講式には4組の親子が参加した。

地元にお住まいの方以外にも評判を聞いて新たに遠方より参加されたご家族もいた。

平成10年度から毎週開催となった本講座も間もなく30年を迎えようとしている。子供たちの健やかな成長を見守りながら温かな指導をされた講師の先生方のもと、多くの親子が伝統ある本講座を受講し子育てに奮闘してきた。



のびのび子育て学級



駐車場入口に新設された
高橋敬造さんによる木彫看板



孵化前のクロサメ
ショウウオの卵のう
(奥裾花社脇の池)

海が眠る大峽谷に 春の訪れ

4月25日(土)、奥裾花自然園の安全祈願祭に30名ほどが参列した。

祈願祭終了後に自然園を散策するとブナの大海原が育む命の源流には「春の妖精」可憐な水芭蕉が芽吹きはじめていた。例年に比べて積雪が少なかった園地だが、ヨシが広範囲に茂り、ミズバショウの生育範囲が以前よりも狭まっていた。奥裾花自然園の開山祭となるこの日、県外からも多くの来場者が園地を巡り、雲一つない穏やかな春の日を満喫していた。

鬼無里ふるさと資料館の展示

その1

古い顕微鏡について

鬼無里ふるさと資料館
きなさーれ

古畑 敦

今年度は鬼無里ふるさと資料館の展示品の中からいくつかを紹介したいと思います。今回は「古い顕微鏡」がテーマです。今年度をもって鬼無里中学校が80年の歴史に幕を閉じます。卒業生のみなさんは思い出の学び舎を懐かしく、少し寂しく思っていることでしょう。

平成26年(2014)に発生した神城断層地震で鬼無里中学校の校庭、校舎などが被災して使用が困難になりました。鬼無里小学校への移転に際して、鬼無里

中学校の備品整理がされました。

その時に

理科準備室

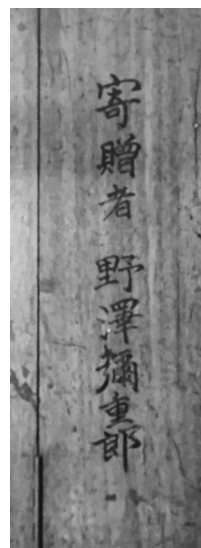
の戸棚の中から一つの古い顕微鏡が発見されました。

これは明治36年(1903)に学校長を務めた「野澤彌重郎」が寄贈したもので当時としては大変貴重で高価なものでした。彼は千曲市稲荷山の出身で明治29年から大正3年までの18年間、鬼無里で学校長を務めて鬼無里の教育に貢献されました。信里小学校の建築にも寄付をしていて長野県の教育の普及に尽力したことが分かります。

彌重郎が寄贈した顕微鏡はオーストリアの光学機械メーカーのカール・ライヘルト社のものでシリアルナ



古い顕微鏡



箱書き



野澤彌重郎 学校長

ンバーから明治30年代のものに分かります。明治40年(1907)に国産の顕微鏡が初めて作られるので、輸入品を購入して寄贈したようです。値段は当時の学長長の月給の5倍ほどで最新の機材でした。鬼無里の子どもたちに最新の機材を使って、科学を学ばせようとした彌重郎の教育に対する意気込みが伝わります。教室の隅に約110年間、保管されていた顕微鏡から生き物や植物などを観察した当時の子どもたちの驚きが伝わってくる展示品です。子どもたちは小さなレンズから大きな新しい世界を見て感動したことでしょう。

分館活動の紹介

上里分館

○分館長コメント

今年度上里分館で皆様と共に活力ある地域づくりをという事で就任させて頂きました。面白くてためになる事を皆さんと探す旅の始まりです。長野市のマイクロボスも借りられる様ですし、もちろん以前のごとく登山とか盆行事などは厳しいかも知れませんが話の種になる何かが出来れば幸いです。「人は一年のうちでどこも痛くも痒くもない日は僅か3日だけ」とどこかの偉い人が言ったように、なかなか皆で集まらないかもしれないませんが、それはそれともあれ御一緒に頑張り

中央分館

○分館長コメント

皆様楽しんでいただける講座・スポーツ・社会見学を計画いたしました。参加者同士のつながりを深め、地域活性化の一助になればいいなと願っています。

ましよう。
10月中旬 趣味の講座
11月3日(火) 文化芸術祭参加
2月中旬 料理教室

両京分館

○分館長コメント

今年度両京分館長として皆様のお世話になります。よろしくお願いいたします。昨年引き続き今年度も謡曲講座、蕎麦打ち講座等を計画いたしました。葉味も、クルミ・大根・ひば等いろいろ工夫してみたいと思います。皆様のご参加をお願いいたします。

8月29日(土) 謡曲講座①
9月19日(土) 謡曲講座②
10月3日(土) 謡曲講座③
10月17日(土) 謡曲講座④
11月2日(月) 謡曲講座⑤
11月3日(火) 文化芸術祭参加
11月21日(土) 蕎麦打ち講座

地域の皆様の多くのご参加をお待ちしております。

6月21日(日) ペタンク大会
8月14日(金) ふるさと夏まつり参加
10月24日(土) 社会見学
10月中旬 クラフト講座
11月3日(火) 文化芸術祭参加

鬼無里公民館職員

◆上里分館

分館長 徳武 和光(新任)
主事 有澤 弘隆
分館協力員 小林 薫
黒田 秀和
原山 政幸(新任)
戸谷 一彦(新任)

◆中央分館

分館長 大日方 博(新任)
主事 宮下 秀和(新任)
分館協力員 原山 良二
佐竹 永成(新任)
戸谷 眞澄(新任)
原山 仁(新任)
松本 修(新任)
中村 光正(新任)
葛口 武文(新任)
山口 美幸(新任)
加藤 公子(新任)
塚田 政秀(新任)
堀内 秀美(新任)

◆両京分館

分館長 山口 正(新任)
主事 木下恵美子
分館協力員 北澤 節夫
岩倉 真一(新任)
木下恵美子(兼任)
宮尾 要吉

◆本館

館長 林部 武起
専門員 北村 達哉(新任)
職員 山本さつき(新任)

わたしの作品

短歌

人生は一寸先がやみの中あわてないでねあわてないでね

宮下米子 〈西京〉

西行も歌に詠まれし奥裾のころも澄ます山桜かな
冬の海寄せ返す波のみなぎりはいよいよ荒く岩礁を打てり

寺前和子 〈竜田〉

今年また咲き初め見たり老木の若枝の末に新しき花
丈高きあら草を刈れば顔を出す九輪草の奥床しさよ

八木政太郎 〈東京都〉

俳句

風変わる五月の空にこいのぼり

宮下米子 〈西京〉

新刊紹介

総理にされた男(2)

家族 中山 七里
葉真中 顕

岩手の大盛井当屋

風を織る あさの あつこ
めだまのスポット 田中 達也

パイシート すごっ!
夫を亡くして 門井 慶喜
とにかく野菜! ⑩を食べた
いレシピ帖 植松 良枝

鬼無里地区人口

(令和8年6月1日)

世帯数	562 (-5)
総人口	1,013 (-18)
男	473 (-10)
女	540 (-8)

() 内は令和8.3.1との比較増減
表紙の題字 一色白泉氏(書家)